

2006年12月14日

<ニュースリリース>

本リリースは2006年11月30日に米国で発表されたものです

米国研究製薬工業協会(PhRMA)

開発中の HIV/エイズ治療薬に関する調査結果を発表

米国研究製薬工業協会 (PhRMA) は、このほど、米国の研究開発志向型製薬企業とバイオテクノロジー企業が開発に取り組んでいる HIV/エイズとその関連疾患用の治療薬ならびにワクチンが 77 種に上るとい調査結果を発表しました。

この調査によると、開発中の新薬 77 種のうち、研究が進められている新しいワクチンは 19 種、抗ウイルス薬は 35 種に上ります。これらの薬剤はいずれも、臨床試験段階または米食品医薬品局 (FDA) の承認待ち段階にあります。また、20 年以上前にエイズの原因となるウイルスの存在が初めて確認されて以降、88 種の HIV/エイズおよび関連疾患の治療薬が承認されています。HIV ウイルスが特定されてからわずか 6 年後の 1987 年に、最初の治療薬が開発され、その後、さらに多くの新しい処方薬が誕生し、入手しやすくなったことや利便性が高まったおかげで、米国民のエイズによる死亡率は大幅に下がっています。

これ以外に開発中の新しい HIV/エイズ治療薬には次のようなものがあります。

- HIV 治療薬に対して深刻な薬剤耐性を示した患者のウイルス量を減少させるインテグラーゼ阻害薬として知られる新しいクラスの薬剤
- エイズウイルスから取った DNA の断片をたんぱく質と結合させることにより、感染の予防、ウイルスが引き起こすダメージの軽減、あるいはその両方を可能にし免疫反応を高めるワクチン
- ヒト細胞の表面にある受容体たんぱく質に結合し、HIV ウイルスが細胞に侵入することを阻害する薬剤

米国疾病対策予防センターによると、1990 年代初頭以降、薬剤のおかげで米国における HIV の母子感染数は大幅に低下しています。さらに、国立衛生研究所 (NIH) の報告によると、最初のプロテアーゼ阻害薬 (HIV 感染細胞がウイルスを複製することを阻害するある抗 HIV 薬の一種) が登場し、多剤併用

療法が導入された 1990 年代半ば以降、米国におけるエイズによる死亡率は約 70%下がっています。*New England Journal of Medicine* 誌によると、2001 年に、新しい治療薬は入院期間を短縮し、総治療費を削減すると報告されています。

最新の報告によると、全世界でエイズによる死亡者は 2,500 万人、感染者は推定で 4,000 万人に上り、米国内の HIV 感染者は 120 万人に上ると見られています。治療薬の目覚ましい進歩にもかかわらず、エイズは発展途上諸国や特にサハラ以南のアフリカ諸国や中国、ロシア、インドといった国々で国家的な問題になっています。国連合同エイズ計画によると、世界の HIV 感染者は推定 3,860 万人、2006 年には新たに 410 万人が HIV に感染したと見られています。

Partnership for Quality Medical Donations によると、1998 年から 2004 年の間に製薬各社は、HIV/エイズ診療所の設置、エイズの啓発・予防プログラム、HIV の母子感染予防プログラム、エイズおよび関連疾患用の治療薬の寄付など、発展途上国における治療状況の改善に向けて 41 億米ドル (4,715 億円*) を超える援助をしました。また製薬各社は、18 カ国においてエイズ治療薬を非常に安い価格で提供しています。

米国研究製薬工業協会のトーザン理事長は「さまざまな HIV/エイズ治療薬のおかげで、かつては死の宣告に等しかった疾患が今では管理可能で慢性疾患のように治療可能な疾病へと変わった。我々は数々の画期的な HIV/エイズ治療薬が開発中であることに大いに勇気づけられる。PhRMA 会員企業は、未来に明るい希望をもたらすべく、この恐ろしい疾病に対するワクチンと治療薬を率先して探求している」と述べています。

詳しくは参考資料を下記のウェブサイトからご覧ください。

http://www.phrma-jp.org/images/uploads/2006_hiv_aids.pdf

また、英語の完全資料は下記のウェブサイトから入手いただけます。

<http://www.phrma.org/files/AIDS%202006.pdf>

###

* \$1=115 円にて換算

PhRMA は、米国で事業を行っている主要な研究開発志向型製薬企業と、バイオテクノロジー企業を代表する団体です。会員企業は新薬の発見・開発を通じて、患者がより長く、より健康でより活動的に暮らせるよう、先頭に立って新しい治療法を探求しています。会員企業の新薬研究開発に対する 2005 年の投資額は、約 394 億ドル（概算）で、製薬業界全体の投資額は過去最高の 513 億ドルに達しました。

PhRMA ホームページ : <http://www.phrma-jp.org>

米国 PhRMA ホームページ : <http://www.phrma.org>

生命を守る革新的な医薬品について : <http://www.innovation.org>

処方支援パートナーシップについて : <http://www.pparx.org>

輸入薬の危険性について : <http://www.buysafedrugs.info>